

# 第8次 春日井市高齢者総合福祉計画（骨子案）

## 第1章 計画策定

### 1 計画策定の背景と趣旨

- 超高齢社会の進展に伴う「地域共生社会」の実現
- 2025年、2040年を見据えた介護サービス基盤、人的基盤の整備
- 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
- 認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進
- 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保と業務効率化の取組の強化
- 新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式を踏まえた対応

### 2 計画の位置づけ

- 老人福祉計画と介護保険事業計画の一体的策定
- 認知症基本法(案)に基づく認知症施策基本計画(予定)

### 3 計画の期間

## 第2章 春日井市の高齢者を取り巻く状況

### 1 高齢者の状況

- 人口の状況(3か年の推計、2025年、2040年、2065年の推計)
- 世帯の状況(ひとり暮らし、高齢者のみ世帯の状況と推計)
- 要支援・要介護認定者の状況(3か年の推計、2025年、2040年の推計)
- 認知症高齢者の状況(3か年の推計、2025年、2040年の推計)
- 介護サービス等の状況 ※施設・居住系サービスに高齢者向けの住まい(サービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホーム)の追加
- 高齢者虐待、地域見守り通報、生活保護(高齢者世帯)の状況など

### 2 日常生活圏域

- 日常生活圏域ごとの状況(人口、高齢化率、要支援・要介護認定者、施設等整備状況、介護資源、住民主体サービス、地域ケア会議など)

### 3 地域包括ケア「見える化システム」を活用した地域分析

- 全国、他自治体との比較(認定率、受給率、受給者1人あたり給付費)
- 介護予防・日常生活圏域二ーズ調査結果の分析

## 第3章 計画の基本的な考え方

### 1 基本理念

#### 「家族の和、隣人の輪、地域の環 生きがいのあるまち かすがい」

本市では、第4次春日井市高齢者総合福祉計画において、「家族の和、隣人の輪、地域の環 生きがいのあるまち かすがい」を基本理念と定め、各種施策を実施してきました。

本計画においても、これまでの基本理念の趣旨を活かして、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができよう、地域包括ケアシステムの推進と地域共生社会の実現をめざします。

### 2 基本目標

#### 基本目標1 高齢者が健康で生きがいを持つ生涯活躍のまちの実現

少子高齢社会の中で地域社会が活力を維持し、持続的な成長を実現していくため、保健事業と介護予防の一体的推進、住民主体の地域づくりの支援など、高齢者が健康で生きがいを持って活躍できる「生涯活躍のまち」の実現をめざします。

#### 基本目標2 地域包括ケアシステムの深化・推進

##### ～誰もが主役 共に支え合う「地域共生社会」の実現～

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、在宅医療・介護の連携の推進、包括的な支援体制の充実、認知症施策の総合的推進など、地域包括ケアシステムを深化・推進するとともに、地域に暮らす誰もが主役となり、共に支え、支え合う「地域共生社会」の実現をめざします。

#### 基本目標3 持続可能な介護・高齢者福祉サービスの確保

2025年、2040年を見据えて、持続可能な介護・高齢者福祉サービスを確保するため、高齢者向け施設・住まいの計画的整備、総合的な介護人材の確保対策、先端技術を活用した介護・福祉サービスの生産性の向上などを図ります。

## 第4章 高齢者福祉施策

### 基本目標1 高齢者が健康で生きがいを持つ生涯活躍のまちの実現

#### 基本施策1 健康づくり・介護予防の推進

##### 【現状と課題】

- 人生百年時代を迎え、平均寿命が延び「老後期間」が長期化
- 2025年には団塊世代が75歳以上に、2040年には団塊ジュニアが高齢者となり現役世代が大幅に減少。健康寿命の延伸が課題

##### 【施策の方向性】

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的推進
- 介護予防・日常生活支援総合事業の効果的な実施
- 予防・健康づくりに取り組む者へのインセンティブ制度の検討

##### 【主な取り組み】

#### 1 健康づくりの推進

- 企業等による健康支援プログラム登録
- かすがい健康マイレージ、歩こうマップ、かすがいいいきいき体操

#### 2 介護予防の充実

- 介護予防・生活支援サービス事業
- 地域リハビリテーション活動支援事業(誤嚥予防セミナー、口腔機能向上事業、誤嚥予防プログラム、療法士等派遣事業)

#### 基本施策2 高齢者が活躍できる環境づくり

##### 【現状と課題】

- 人生百年時代とライフスタイルの多様化
- 元気で意欲ある高齢者が、就労、社会参加など生涯現役で活躍できる環境づくりが課題

##### 【施策の方向性】

- 地方創生の観点から「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)を推進
- 「高齢者」の概念(イメージ)の変革、中高年齢者が地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を実現

##### 【主な取り組み】

#### 1 高齢者が活躍できる環境の充実

- シルバー人材センターの活用、多様な就労支援

## 2 老人クラブ活動の促進

- 老人クラブ活動の活性化

## 3 人にやさしいまちづくりの推進

- バリアフリー(特に情報ICT分野)、ユニバーサルデザイン
- スマートウェルネスを目指したまちづくりの推進

# 基本施策3 生きがいづくり・社会参加活動の促進

### 【現状と課題】

- 少子高齢社会の進展に伴い、ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯が増加。社会からの孤立防止、無縁社会への対応などが課題
- 平均的な高齢者像から健康、経済、学習・社会参加などあらゆる分野で価値観の多様化と格差の時代に

### 【施策の方向性】

- 高齢者が年齢や性別にとらわれることなく、他の世代とともに地域社会の重要な一員として生きがいを持って活躍できるよう、生涯学習・スポーツ活動への支援やボランティアなど、地域における社会参加活動の促進
- ひとり暮らし高齢者の増加などを背景に、高齢者同士や多世代が交流する意義を再認識し、地域における支え合いの仕組みや、参加と協働、学びと交流の場などの再構築

### 【主な取り組み】

#### 1 生涯学習・スポーツ活動への支援

- かすがい熟年大学、自分史講座、高齢者スポーツ振興

#### 2 地域における福祉活動の促進

- 地域福祉コーディネーターの活用、生活支援体制整備事業
- 先進的な地域福祉活動の支援

#### 3 地域交流の促進

- 高齢者サロン等の推進
- 多世代交流の促進

## 基本目標2 地域包括ケアシステムの深化・推進 ～誰もが主役 共に支え合う「地域共生社会」の実現～

### 基本施策4 医療・介護連携の推進

#### 【現状と課題】

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年に医療と介護の両方を必要とする高齢者が増加。人生の最終段階の医療とケア、終活支援、看取りの場などが課題
- 在宅医療・介護サポートセンターを設置し、医療・介護関係者の連携を推進。切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の確保が課題

#### 【施策の方向性】

- 在宅医療・介護サポートセンターが在宅医療・介護連携に関する研修や相談支援、市民への普及啓発など、在宅医療・介護の連携を推進
- 春日井市医師会を始め関係機関と連携し、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を検討
- 「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」の推進

#### 【主な取り組み】

##### 1 在宅医療と介護の提供体制の構築

- 在宅医療・介護サポートセンターの運営、地域包括ケア推進協議会
- ハートフルパーキング

##### 2 在宅医療・介護の連携の推進

- 多職種連携研修、かすがいねっと連絡帳(ICT)の活用

##### 3 在宅医療・介護に関する普及・啓発

- 人生の最終段階の医療「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」など在宅医療に関するパンフレット、講演会など

### 基本施策5 地域を基盤とする包括的支援の強化

#### 【現状と課題】

- 2025年に向けて地域包括支援センターの機能強化(基幹型センター設置、地域包括支援センターの再編)と評価制度を実施。多様な課題に対応する相談機関同士の連携と地域マネジメントに注力できる体制づくりが課題

#### 【施策の方向性】

- 複合化、複雑化するニーズに対応するため、多機関協働による包括的な支援体制の構築を推進(「重層的支援」等)

#### 【主な取り組み】

##### 1 包括的支援体制の構築

- 地域包括支援センター機能の充実、多機関協働の実務者連携会議

##### 2 地域の見守り体制の強化

- 地域見守りホットライン、地域の見守り体制の確保
- 地域の実情把握に関する調査、ひとり暮らし高齢者登録制度
- 災害時の避難支援、社会福祉施設等の災害時協定

##### 3 家族介護者への支援

- 家族介護者支援センター、ハートフルケアセミナー

### 基本施策6 認知症高齢者等の総合的支援

#### 【現状と課題】

- 2025年には本市の認知症高齢者が約1万人となり、認知症になっても地域で安心して暮らせる環境づくりが課題

#### 【施策の方向性】

- 認知症の人や家族の視点に立ち、共生と予防を車の両輪として施策を推進
- 高齢者・障がい者権利擁護センターが中核機関となり成年後見制度の利用支援と終活サポートを推進

#### 【主な取り組み】

##### 1 認知症の理解のための普及啓発

- 認知症サポーター養成講座、上級者養成講座
- 地域で認知症サポーター等が活躍できる仕組み(チームオレンジ)
- 本人発信、家族介護者の支援

##### 2 認知症の人やその家族が安心して生活できる支援策の推進

- 認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の取組
- 認知症疾患医療センターとの連携、認知症カフェ、認知症ケアパス
- 認知症高齢者等見守り支援事業(GPS端末導入助成など)

##### 3 権利擁護の推進

- 高齢者・障がい者権利擁護センターの機能強化、市民後見人の育成
- 権利擁護連絡会議の設置、地域連携ネットワークの構築
- 成年後見制度の利用支援、終活サポート制度の利用促進

## 基本目標3 持続可能な介護・高齢者福祉サービスの確保

### 基本施策7 介護・高齢者福祉サービスの確保

#### 【現状と課題】

- 2025年から2040年に向けて、介護ニーズの高い85歳以上の人口が急速に増加するとともに、団塊ジュニアが高齢者となり現役世代が大幅に減少
- 年金・医療・介護などの社会保障費が大幅に増加。65歳以上の高齢者を支える現役世代の負担が限界に達するとともに、介護を支える人的基盤の確保が課題

#### 【施策の方向性】

- 介護保険制度について、地域包括ケアシステムの推進と保険者機能の強化を図りつつ、持続可能な制度の構築、介護現場の革新の観点から介護・高齢者福祉サービスの見直しを進めることが必要

#### 【主な取り組み】

##### 1 日常生活の支援(ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、生活困窮者等)

- 必要な生活支援サービスの検討
- 介護サービスと保険外サービスの活用
- 高齢者の移動手段の検討(福祉有償運送、訪問型サービスDなど)

##### 2 介護サービスの整備

- 介護施設サービスの整備
- 高齢者向け住まい(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)の整備状況等も踏まえた整備
- 共生型サービスの整備
- 介護施設等における看取り環境の整備促進

### 基本施策8 介護サービスの人材確保と質の向上

#### 【現状と課題】

- 医療・介護のニーズが高まる中で、介護職に限らず介護分野の人材不足が拡大
- 人材不足の中でも介護サービスの質の維持・向上が必要

#### 【施策の方向性】

- 介護職員の処遇改善や離職防止、元気高齢者等の多様な人材の確保・育成、外国人材の受入れ環境の整備など総合的な人材の確保が

必要

- 介護現場における業務改善、ロボット・ICTの活用など介護現場の革新の取組推進

### 【主な取り組み】

#### 1 介護人材の確保・育成

- 介護職員の離職防止と定着促進
- 外国人介護人材の定着支援
- 元気高齢者の参入促進

#### 2 介護サービスの質の向上

- 介護サービス事業者指導
- 有料老人ホーム入居者への支援、高齢者向け住まいのあり方(質の確保のための行政による現状把握と関与の強化)
- 介護施設・事業所におけるロボット・センサー、ICTの導入支援

## 基本施策9 介護サービスの適正な利用の促進

### 【現状と課題】

- 2025年から2040年に向けて医療と介護の両方のサービスを必要とする人が増加し、限られた医療・介護サービスの資源を有効に活用する必要が一層高まる

### 【施策の方向性】

- ケアマネジャーには、自立支援、重度化防止の観点から質の高いケアマネジメントが求められ、医療との連携やインフォーマルな支援など多様な資源の活用・開発が必要
- ケアマネジャーの事務負担を軽減し、ICT等を活用した研修の受講環境の整備や研修の充実

### 【主な取り組み】

#### 1 ケアマネジメントの質の向上

- 居宅介護支援事業者指導
- ケアプラン点検

#### 2 効果的・効率的な介護給付の推進

- 介護関連データの利活用の推進
- 介護分野の文書の削減・標準化等



## 第5章 介護保険事業

### 1 給付費等の推計と介護保険料の算定手順

### 2 介護サービス等の利用者数及び利用量の推計

- (1) 施設・居住系サービスの種類別利用者数の推移及び推計
- (2) 居宅サービスの種類別利用量の推移及び推計
- (3) 地域支援事業のうち介護予防・生活支援サービス種類別利用者数の推移及び推計

### 3 施設整備計画

- (1) 施設・居住系サービス整備目標量
  - 有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅を含めた整備計画
  - 介護医療院の転換の見込み(医療分からの転換も含む)
- (2) 地域密着型サービスの日常生活圏域別整備計画
  - 地域密着型サービスに対する保険者の独自報酬の設定の検討

### 4 給付費の推計

- (1) 施設・居住系サービスの種類別給付費の推移及び推計
- (2) 居宅サービスの種類別給付費の推移及び推計
- (3) 地域支援事業の種類別事業費の推移及び推計
- (4) 給付費等の推移及び推計

### 5 保険料基準額の設定

- (1) 介護給付費の財源
- (2) 地域支援事業費の財源
- (3) 保険料基準額の算定 ※将来推計(2025年)
- (4) 所得段階別の保険料

## 第6章 計画の推進